

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞
受賞者	鴻池組・竹中土木・青木あすなる建設共同企業体
所在地	大阪府 大阪市
受賞テーマ	電鉄連続立体交差工事における環境影響低減のための多様な建設リサイクル

【取組概要】

① 再生材の利用促進と CO2 排出量削減

場内施工基面の整備等には再生砕石を100%使用している。また搬入出サイクルについても現場で発生したコンクリート殻をリサイクル工場へ持ち込み、持ち込んだ車輛に再生砕石を積載し作業所へ搬入することにより運搬車両の削減、CO2排出量の削減を図っている。

② 現場使用材を再利用した CO2 排出量削減

付替歩道工事にて軽量盛土工を行った際に使用した発泡スチロールを休憩所の屋根に設置した。発泡スチロールの断熱効果を利用することにより空調設備に掛るCO2排出量削減に寄与している。

③ 燃費運転推進による CO2 排出量削減

現場で稼働している重機について、無駄なエンジンの空吹き、エンジン出力を抑制した操作、作業休止時のアイドルストップ等を励行させた。また協力業者通勤車両、資機材搬入車両等全ての車輛に関してもアイドルストップ運動を推進させた。

④ 産業廃棄物発生の抑制

他現場で使用されていた仮設材の土留め用木矢板を再び当現場にて使用することにより、企業として現場毎に発生していた産業廃棄物量を削減することに取り組んでいる。

⑤ 舗装切断による汚泥排水の低減

ウォーター・リサイクル工法を採用することにより舗装切断時に発生する汚泥排水を脱水・濾過・中和し、処理水を切断用冷却水として再利用しながら作業が出来る。そのため従来工法に比べ、75%～85%汚泥排水を抑制することができる。又、排水を脱水することで作業終了時の産廃処分量、産廃処理費を削減出来る。

⑥ 振動・騒音の低減による工期短縮

場所打ち杭工において、従来のオールケーシング工法で施工を行う際、ハンマーグラブを使用しての掘削作業を行うが振動・騒音が発生し易い。当現場は住宅地や救急病院が隣接している為、特に振動には留意する必要があったが、今回 BKF 工法を採用することにより振動・騒音に対する施工時間に制約がなく工期の短縮を図ることができた。建設汚泥の造粒固化処理中間施設として西日本最大級の施設であり、大量の廃棄物受入が可能です。製造される改良土については、ICP等の最新分析機器を使用して土壌環境基準に対応する為、当社製造の改良土については奈良県リサイクル製品の品質基準に合致しています。

【評価】

再生材 RC の利用促進、効率的な車両運搬による CO2 排出量削減、現場使用材のリユースなど、環境影響低減の多様な取組が実施されているところが評価できる。

排再生材の利用促進と CO2 出量削減



コンクリート殻の搬出

リサイクル工場

100%再生砕石

現場使用材を再利用した CO2 搬出量削減



休憩所の屋根スペース発泡スチロール設置状況